

天童移住の魅力 ツアーで知って

移住の取り組み拡充を目指す天童市は、新たに「移住体験ツアー」を始めた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、初回の7月31日はオンライン形式に切り替え、県外の9組15人の参加者に夏休みに家族で楽しめる市内のお出掛けスポットをライブ中継で紹介した。実施結果を受け、担当した地域おこし協力隊の徳山陽滋（かみ）隊員は「参加者を含めて移住希望者と長く関係性を構築していかなければいけない」と、次の展開策を練っている。

市が新企画、初回はオンライン

家族向けスポット紹介

今回はコロナ禍で移住検討者への現地案内が困難なため、オンラインを使った手法を取り入れた。認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）の協力を得て、約10人体制でライブ中継による仮想ツアーを企画。徳山隊員ら市職員3人が体験や遊び、自然散策ができる子育て未来館けんきツズや果樹園、天童高原、



オンラインの移住体験ツアーで、天童市内のお出掛けスポットを紹介する徳山陽滋隊員（天童市提供）

舞鶴山など6カ所から、イメージをつかめるよう約1

時間にわたって配信した。参加したのは、首都圏や福井県などの20〜40代の男

女。ツアー後の質問コーナーやアンケートを通して、参加者からは「雪はどのくらい降るのか」などの質問のほか、移住のタイミングについては「就職先が決まれば「会社を退職したら」との声があった。

徳山隊員は、今後の展開として▽長期での検証▽移住相談者やイベント参加者の増加▽見込み移住者との関係性の構築と強化などを挙げており、「インターンを考えていた参加者も多く、さらに検討者を増やしたい。長い関係性や信頼性をつくった上で、長期的な視点で施策で天童に来てもらえるようにしたい」と語っていた。

（進藤和美）